

# 自己評価結果公表シート

2023年度

明星中学校・高等学校

## 1. 学校の教育目標

「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」という学苑の建学の精神のもと、変化し続ける社会に敏感に対応し、自らの将来を描き共創できる力を一人ひとりの生徒に身につけさせる。

新たな時代に向けて明星中学校・高等学校は、以下を教育ビジョン・教育目標とする。

教育ビジョン

- ・「世界のトレンドに適応し続けるイノベティブな学校」
- ・「人と自然を愛し、自他の価値を大切にする学校」
- ・「生徒と教師がともに成長し誇りを持てる学校」

教育目標

「自分の未来をデザインし共創していける人の育成」

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

### (1) 中高一貫イノベーション

- ①セグメント別達成目標に応じた指導目標設定と実践  
Ex (T クラス A30 名・全員 B 以上／英検準 2 級全員取得)  
(S クラス B50 名・全員 C 以上／英検 3 級全員取得)  
(E クラス 英検準 2 級全員取得／英語全員 A 以上)
- ②心の教育・基本的生活／学習習慣確立への徹底指導  
(手塩にかけた指導による生徒の成長)
- ③探究学習 (SDG s ・地域共創を含む) の深化と進化
- ④外部資源を利活用し基礎学力定着への挑戦
- ⑤グローバル教育・英語教育の充実
- ⑥AI プログラム教育・理数教育の充実
- ⑦小中連携の推進
- ⑧読書推進及び一流なもの・人との接触推進

### (2) 高校教育イノベーション

【本科・SMGS・MGS 共通】

- ①「目に見える学力」×「目に見えない学力」による未来志向の教育
- ②心の教育・体験教育 (探究活動) の充実
- ③学校活動全般を通して生徒の学校へのロイヤリティ向上
- ④グローバル教育の新しい展開への挑戦
- ⑤ICT 機器・AI プログラム・アクティブラーニング・外部コンテスト等の積極的利活用
- ⑥新しい時代の人財ニーズ・新教育観・新教育課程への対応
- ⑦入試問題・学習教材・探究学習等の積極的研修
- ⑧高大連携・外部連携による SDG s 活動・地域共創活動の推進

【本科】

- ①目に見える学力 (基礎学力) の充実を図りながら、SDG s 活動を中心とした学習に重点を置き目に見えない学力の養成
- ②心の教育・基本的生活／学習習慣確立への徹底指導

- (手塩にかけた指導による生徒の成長)
- ③地域連携 SDG s 活動に特化した探究・体験活動の深化・進化
  - ④提携大学・明星大学との高大接続・高大連携の推進
  - ⑤推薦入試・総合型入試(明星大含)に向けた組織的・体系的指導
  - ⑥卒業までに英検準 2 級以上の取得指導(英語科)
  - ⑦部活動と勉学の両立を図る具体的で丁寧な指導
  - ⑧企画力・協働力・プレゼンテーション力向上への具体的打ち手の実施

#### 【SMGS/MGS】

- ①難関大学合格を目指した学力養成対策の深化と進化
- ②生徒状況を可視化・共有化しチームによる早期指導の徹底(模試分析と共有・具体的指導の深化)
- ③英検準 1 級・2 級の取得を目指し、英語教育の質向上(英語科)
- ④教養を高め、思考力・表現力向上のために外部講師招聘及び外部コンテスト等に積極的に参加
- ⑤高い目標設定と進路実現に向けた精神的成長・ものの考え方及び自立学習(学習習慣) 確立への手塩にかけた指導
- ⑥SDG s 活動・探究学習の充実による目に見えない学力養成
- ⑦世界への興味関心、大学・学部・学科への興味関心の醸成
- ⑧教科指導力・進路指導力・生徒指導力養成のための研修の充実

#### (3) 多摩共創プロジェクトの推進

- ①多摩共創プロジェクト推進につながるワークショップ・研修会・見学会・フィールドワーク等への積極的参加
- ②府中市との協働協定による連携事業推進と積極的提案
- ③国分寺市・小金井市へのフィールド拡大への挑戦
- ④本科探究学習 3 ヶ年グランドデザイン確立へ向けての企画・立案
- ⑤提携大学との連携協定による探究活動推進
- ⑥国・府学のプログラム作成と具体的連携への挑戦
- ⑦本科 1・2 年の FairTrade 活動の推進
- ⑧ユネスコスクールとしての課題整理と効果的発信

\*探究学習のメインストリームは中高一貫。高校の探究は SDG s 又は学術的探究を中心とした学習活動とする

#### (4) 人と組織の成長・業務改善

- ①ワークバランスへの意識改革及び明星教師としての意識向上
- ②業務改善 PJ による具体的打ち手の実行
- ③変形労働制試行の実施と課題発見・課題解決(スケジュール管理・会議方法の研究)
- ④自己研修・研鑽への具体的実行と可視化
- ⑤教科指導力・授業力の向上への具体的実行(定期考査問題の点検・模試分析・教科学力向上)
- ⑥進路指導力・生徒指導力向上への具体的実行(関係部署との連携・学年の仕組み・フォロー体制)
- ⑦コンプライアンス意識改善と実践(研修及び報連相の徹底)
- ⑧事務と教員の連携と管理運営業務の点検・見直し

#### (5) 学校運営上の推進事項

- ①安全管理(登校時のバス乗車指導等)
- ②情報提供(教育プラットフォーム、学校 HP 等での発信)
- ③教育環境整備(学校 DX 化の推進)
- ④コンプライアンスの徹底(e ラーニング、コンプライス対応システム)

⑤保護者対応（PTA 研修会、学年保護者会、PTA 役員懇談会）

(6) 課題解決プロジェクトの設置

- ①教育イノベーションPJ (L 水野)
- ②業務改善PJ (L 上杉)
- ③探究・SDGsPJ (L 水野)
- ④100周年行事 (L 小川)
- ⑤高大接続PJ (L 藤井)
- ⑥高大連携PJ (L 上杉)
- ⑦MGS戦略PJ (L 高木)
- ⑧英語戦略PJ (L 高木)

(7) 入学広報戦略・戦術の深化、入学者の確保

- ①高校入学目標：本科 175 名、SMGS・MGS70 名
- ②中学入学目標：153 名

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1) 中高一貫イノベーション	①	C 各セグメント別GTZ・英検取得率 (T:E:S:)
	②	C 補講・面談回数、学力推移GTZの成績向上
	③	A 各学年シラバスの作成と運用
	④	B スタディサプリ・Classiの活用状況
	⑤	A 英語教育関連プログラムの実施状況
	⑥	A 明星大学情報学部と連携したプログラミング教育の実践 【資料0】
	⑦	D 小中連携のシラバスと実績、小中継続率66%
	⑧	B 各セグメントごとの読書量
(2) 高校教育イノベーション 【本科・SMGS・MGS共通】	①	A 学年シラバスの運用・外部コンテストへの発表
	②	A 年間計画に凝念の実施回数・府中市と連携した探究活動 【資料1】
	③	A 授業アンケートの肯定率SMGS/MGS77%,本科74% 【資料2】
	④	A 海外研修の取り組み状況・英検取得率
	⑤	B iPad利活用の徹底・オンライン英会話・教育ポータルへの運用・AIチャットの導入
	⑥	B 校内・外部研修会への参加回数
	⑦	B 校内研修の実施回数
	⑧	A 提携大学、府中市との連携事業に基づくシラバス作成と運用
【本科】	①	B 探究活動計画・模試のGTZ上昇を組み込んだ学年シラバスの設計と実践
	②	B 補講・面談回数、スタディサポートの学習習慣GTZの成績向上☑
	③	A 府中市と連携した探究活動計画を組み込んだ学年シラバスの設計と実践
	④	A 提携大学・明星大学と連携したシラバスの作成と実践 【資料3】
	⑤	B 自由選択授業のシラバス、高3進路シラバス作成と運用・現役進学率
	⑥	B 英検取得率 準2級以上60.4%
	⑦	D 部活動内における補習・顧問による時間管理と定期的な面談の実施
	⑧	D 明星大学デザイン学部と連携した総合学習の実施

【SMGS/MGS】	①	B	国公立：(目標20人)、早慶上理ICU：(目標20人)、GMARCH：(目標100)
	②	B	進路検討会・分析会の実施回数・模試GTZのS～B層の成績向上 【資料4】
	③	B	英検取得率 2級以上76%
	④	C	講演会の実施回数・高校生国際シンポジウムへの全国大会参加
	⑤	A	年間計画に凝念の実施回数・学年シラバスの作成と実践
	⑥	B	府中市と連携した探究活動計画を組み込んだ学年シラバスの設計と実践
	⑦	A	講演会の実施回数、有期的な進路シラバスの設計と実践
	⑧	B	担当教員の外部研修参加率・授業アンケートの肯定率
(3) 多摩共創プロジェクトの推進	①	C	研修会等の参加回数、報告数
	②	A	府中市との連携事業の実施回数
	③	B	ワークショップ、見学会、フィールドワーク等の参加回数
	④	C	3年間の探求シラバスの作成と実践
	⑤	A	提携大学との連携プログラムの作成と実践、実施回数 【資料5】
	⑥	C	国・府学のプログラム作成と実践
	⑦	A	府中市を中心とした外部機関との研修会・フィールドワークの回数
	⑧	C	ユネスコスクールガイドラインを踏まえた活動の作成と実践
(4) 人と組織の成長・業務改善	①	B	研修会の実施回数、年間総労働時間スケジュールの遵守
	②	B	具体的打ち手の数
	③	B	インスイートでのスケジュール管理の共有
	④	B	研修会等の参加回数
	⑤	B	外部研修会の参加回数、授業アンケート結果
	⑥	A	分掌と学年との打ち合わせ回数、分析会・検討会の実施回数
	⑦	B	研修会の実施回数
	⑧	A	管理職会、働き方改革PJ、入試運営会の参加回数
(5) 学校運営上の推進事項	①	A	乗車指導の実施回数
	②	A	発信回数、HPのアクセス回数 【資料6】
	③	B	物品役務、交通費精算、図書購入等の電子化
	④	B	研修会の実施回数、参加状況
	⑤	A	研修会、保護者会の実施回数、参加状況
(6) 課題解決プロジェクトの設置	①	B	探究シラバスの設計と実践、教科指導力の測定(授業アンケート)
	②	B	関係諸機関との連携と実施状況
	③	B	働き方改革と変形労働制の試行調査の実施状況
	④	A	100周年式典、各種講演会等の実施 【資料7】
	⑤	A	高大接続シラバスの作成と実践、明星大ACとの打ち合わせ回数
	⑥	B	提携大学との連携プログラムの実践回数
	⑦	B	難関大学合格に向けた組織的指導力の向上
	⑧	B	新教育課程における4技能5領域統合型授業に向けた指導力の向上
(7) 入学広報戦略・戦術の深化、 入学者の確保	①	A	高校入学目標：本科(目標153)、SMGS・MGS(目標94)
	②	A	中学入学目標：(目標153)

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価	理由
B	評価項目が達成できており十分な成果がでているものと、着手はしているが成果があがっていないもの、未着手のものが混在しており、マネジメント及び、細かな指示命令がさらに必要と思われる。経営的定量及び外部との連携事業は満足できるものである。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
コンプライアンス意識醸成	外部人材への委託・研修項目の精緻化
一貫コース指導の精緻化	一貫4年生の戦略的人員配置・定点観測による指導の充実
教員の教科指導力強化	教科研修会参加の呼びかけと見える化
英検取得率の向上	担当教頭によるセグメント別目標設定と具体的実践
部活動生徒の学力担保	学校全体としての取組への体制作り
明星大学進学者増	大学との連携をさらに強化

## 一貫1年生プログラミング講座 実施報告書

作成者：府中校事務ユニット教学チーム（飯田）

## 1. イベント概要

イベント名 明星中学校・高等学校一貫1年生プログラミング講座  
開催日時 2023年7月12日(水)～7月15日(土)  
場所 明星中学校・高等学校 一貫1年教室  
参加者数 一貫1年生160名、  
中高教員4名（新井、藤井証、木村、山崎優）、  
大学教員1名（山中）、大学研究員2名（元島、二葉）、大学生：延べ18名  
SONY社員1名（MESHの開発者）、  
事務職員4名（田中、堀内、福田、飯田）

## 2. イベントの目的

- (1) 学習指導要領で必要とされている中学生のプログラミング学習について、本校の情報科が主体となってプログラムを構築する。
- (2) 明星大学情報学部山中脩也先生のご助言をいただき、小学校から大学までが繋がるようなプログラミング学習の設計を行う。
- (3) 大学生に授業に入ってもらうことによりプログラミング学習を個別最適学習で展開することで途中脱落者を減らし生徒へプログラミング学習の面白さを伝える。

## 3. イベント内容詳細

SONYが開発したMESHというIoTブロックを使用する。



MESH アプリによりブロック型ビジュアルプログラミングでプログラミングを行い、その命令をMESHブロックに無線で飛ばすことで身の回りの困っていることの解決やあったらいいなどと思うことの実現をするもの。

時間	内容
1 コマ目	オリエンテーション
2 コマ目	体験会
3 コマ目	作品構想
4 コマ目	作品制作
5 コマ目	作品制作
6 コマ目	作品発表会

#### 4. 所感

授業を担当した先生（中学技術科教員1名、高校情報科教員3名）は、生徒に正解を教えるのではなく生徒が自ら考えて試行錯誤しながらゴールに辿り着くという部分を大事にしながらご指導くださった。プログラミング教育が目的とする「情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する」という部分に寄与できたように思う。

高校情報科教員が主導で中学生向けプログラミング講座を実施するのは今回が初めてであったが、ゲーミフィケーションの要素を取り入れるなどして自分のアイデアを出しやすい授業づくりをし、また大学生が授業に入ることで分からないことをすぐに質問できるような場づくりを行うことができ、「プログラミング=難しい」という感覚を植え付けないような工夫ができたように感じた。大学生の生徒への声かけや促しは生徒たちの学ぶ意欲を高めたようで、生徒の生き活きと楽しそうに取り組む様子を見ることができた。

終了後には明星大学情報学部の山中先生や大学生と振り返りの時間を設け、大学生からも本講座へのフィードバックをいただいた。中学生と関われることでの学びの大きさを口々に述べていただき、大学と連携をして事業を行うことの意義を感じた事業であった。

以上

※以下、当日の記録写真




# 【資料1】

2023年9月11日  
一貫教育連絡会資料

## 2023年度 府中市との連携事業について

### 1. 実施案件

依頼部署	内容		
選挙管理委員会事務局	時期	令和5年4月	
	対象	本科・MGS新高3	
	内容	市議会議員選挙啓発 選挙期日の周知及び投票棄権防止および若年層の投票率向上を目的とし、新有権者になった明星高等学校の生徒が選挙管理委員会のTwitterに選挙啓発のコメントを多数寄せた。	
中央図書館	時期	令和5年7月14日(金)～8月31日(木)	
	対象	中高図書委員会	
	内容	My Favorite Things ×ラグビー～君にパス！繋げよう「お気に入り」ボール～と称し、中高生に楽しんで図書館を利用してもらうきっかけをつくり、子どもの読書活動推進に繋げる。おすすめの本や図書館の好きなどころなど、自分の「お気に入り」をラグビーボールの形のPOPに自由に記入し、中央図書館YALルームに設置したポストに投函してもらう。	

### 2. 依頼案件（進行中・調整中案件含む）

依頼部署	内容	
道路課	時期	令和5年11月25日(土)～26日(日)
	対象	本科高校1年
	内容	府中市インフラマネジメント計画推進事業 市が行っているインフラ(道路、公園、下水道)管理の現状や市民生活の安全確保のために実施しているインフラマネジメントについて、市民及び民間事業者の理解を深めるための周知を図る。
協働共創推進課	時期	令和5年11月25日(土)～26日(日)
	対象	本科高校1年
	内容	市民協働まつり ブース出展、パフォーマンス発表、ライトニングトーク等
選挙管理委員会事務局	時期	令和6年1月下旬
	対象	本科高校3年
	内容	市長選挙啓発：ツイッターで投票の呼び掛け、啓発物品を配布しながら、投票の呼び掛け
地域コミュニティ課	時期	令和6年3月下旬
	対象	本高校科2年、本科高校1年
	内容	第53回府中市市民桜まつり：舞台発表、ヒーローショー、模擬店・展示PRコーナー、ミニSL、自由遊びコーナー、宝探し、パレード、民踊流し等 ポッチャ体験ブースの運営補助
政策課	時期	令和6年3月下旬

+各関係課 ①保育支援課、多様性社会推進課 ②財産活用課 ④計画課	対象	本高校科 2 年、本科高校 1 年
	内容	SDGs 普及啓発事業 ①新庁舎のキッズスペースに設置するジェンダー平等をテーマとするおもちゃの選定 ②ペットボトルリサイクルを推進する庁内自動販売機のラッピングデザイン ③SDGs の啓発のためのポスターコンクール実施に係る協力 ④ちゅうバス 20 周年に合わせた脱炭素等をテーマとするコミュニティバスラッピングデザイン
子ども家庭支援課	時期	随時
	対象	検討中
	内容	食育推進事業：ワークショップの開催
道路課	時期	毎月 2 回程度（月曜日）
	対象	一貫 1～3 年
	内容	道路等包括管理事業：府中駅前のペDESTリアンデッキの清掃
明星→生活環境部観光プロモーション課	時期	未定
	対象	探究科十一貫 1 年十一貫 2 年ボランティア・本科 1 年
	内容	国・府学の学習成果を、府中市の観光で還元してほしい

### 3. 実施ペンディング案件

ペンディングの理由：日程の調整がつかなかったため。

依頼部署	内容	
道路課	時期	年 2 回（5 月・12 月）
	内容	道路クリーンアッププロジェクト：道路の清掃
障害者福祉課、スポーツタウン推進課	時期	令和 5 年 5 月 20 日(土)
	内容	府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会
スポーツタウン推進課	時期	令和 5 年 5 月 27 日(土)・28 日(日)
	内容	ボッチャ教室：ボッチャ体験ブースの運営補助
環境政策課	時期	6 月第 1 土曜日
	内容	府中環境まつり：ブース出展、パフォーマンス発表等
スポーツタウン推進課	時期	令和 5 年 7 月 15 日（土）
	内容	市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル：ボッチャ体験ブースの運営補助
環境政策課	時期	10 月ごろの土曜日の 1 日(半日)を予定
	内容	森キッズクラフト：工作などの作り方や作業のサポート →一貫 1 年生全員参加のため、森キッズクラフトではなく別事業で調整
スポーツタウン推進課	時期	令和 5 年 12 月上旬
	内容	waiwai フェスティバル：ボッチャ体験ブースの運営補助

以上



## 【資料2】

質問(1) 「私は、毎日学校に来るのが楽しい」

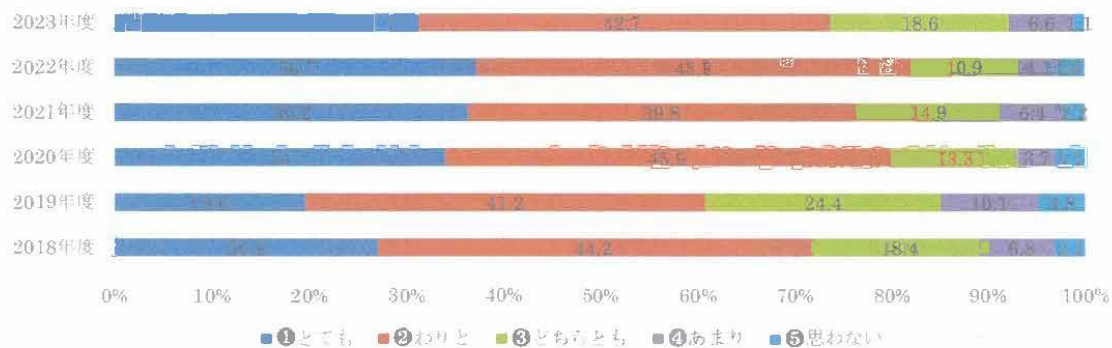
【過年度比較】 ※昨年度の高1生との比較データ

(MGS/SMGS)



- 肯定率(65.7→77.2 +11.5p)は増加し、昨年度の減少分を取り戻し一昨年度並みに戻っている。
- 否定率も大幅に減少(14.2→3.4 -10.8p)。この6力年で最も低い。学校生活に大きな問題なし。

(本科)

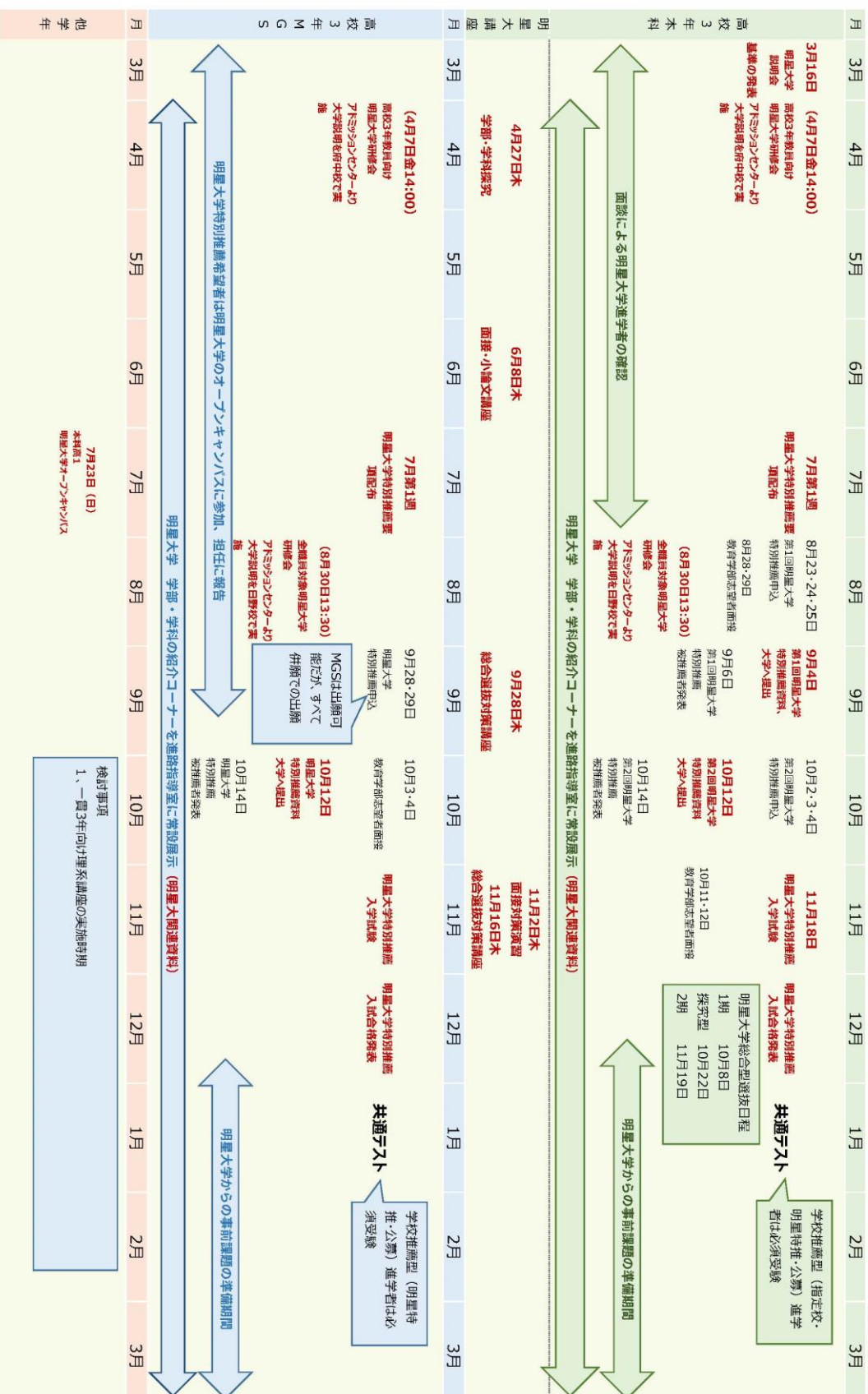


- 肯定率(80.6→73.7 -6.9p)は減少。否定率(6.8→7.7 +0.9p)は昨年度とほぼ変わらず。
- 肯定率はやや下がっているがここ4年間は70%以上で安定している。

【資料3】

2023年度 高校3年高大接続 実施スケジュール

2023/6/13 9:28



【資料4】

高校3年全統記述模試 5月結果

	MGS文系			
	5月		9月	
	49.7		51.7	
S1			1	1
S2	1	1	1	2
S3	1	2	3	5
A1	2	4	3	8
A2	3	7	3	11
A3	12	19	13	24
B1	7	26	4	28
B2	8	34	9	37
B3	7	41	5	42
C1	0	41	3	45
C2	4	45	1	46
C3		45		46
D1		45		46
D2		45		46
D3		45		46

	SMGS理系				MGS理系			
	5月		9月		5月		9月	
	52.1		54.9		45.2		48.3	
S1								
S2			1	1				
S3	1	1	2	3				
A1	1	2	3	6	1	1	1	1
A2	0	2	3	9	0	1	1	2
A3	5	7	2	11	1	2	3	5
B1	4	11	2	13	1	3	6	11
B2	4	15	4	17	9	12	9	20
B3	4	19	0	17	5	17	1	21
C1		19	1	18	3	20	0	21
C2		19		18	1	21	2	23
C3		19		18		21		23
D1		19		18		21		23
D2		19		18		21		23
D3		19		18		21		23

## 【資料5】

### 北海道科学大学高等学校、北海道科学大学、明星中学校・高等学校との 連携事業に関する協定締結式の報告

作成者：府中校事務ユニット 教学チーム

#### 1. イベント概要

実施日時 2023年9月26日（火）13時00分～

場 所 北海道科学大学 A棟4階 A434 会議室

出席者 北海道科学大学高等学校

校 長 橋本 達也

副校長 田尻 勝敏

教 頭 山下 卓

事務長 小向 裕美

北海道科学大学

学 長 川上 敬

副学長 石田 眞二

事務局長 木原 雅人

明星中学校・高等学校

校 長 福本 眞也

事務長 村山 光子

#### 2. 協定締結の主旨

各校それぞれの設立の趣旨を尊重の上、教育交流を通じ、両校の特色を活かした幅広い分野の連携を推進することにより、生徒の成長を促し、学校教育の活性化を図り、もって社会の発展、振興に寄与することを目的とする。

#### 3. 連携・協力事項

北海道科学大学高等学校

(1) 教育の連携に関すること

(2) 生徒間の正課及び課外活動における交流に関すること

(3) 教職員の研修・交流に関すること

(4) 施設の利用に関すること

(5) その他両校の間で合意された事項

北海道科学大学

(1) 教育、研究の連携に関すること

(2) 学生・生徒間の正課及び課外活動における交流に関すること

(3) 教職員の研修・交流に関すること

(4) 施設の利用に関すること

(5) その他両校の間で合意された事項

#### 4. 式次第

1. 開会

2. 出席者紹介

3. 連携事業協定の概要説明

4. 連携事業協定書 締結式

5. あいさつ

北海道科学大学高等学校 校長 橋本 達也

明星中学校・高等学校 校長 福本 眞也

北海道科学大学 学長 川上 敬

6. 写真撮影

7. 閉会

#### 5. 協定締結式の様子



作成日：2023年10月28日

一貫本科2年生対象 職業体験 明星大学 図書館の報告

作成者：府中校事務ユニット 教学チーム

1. イベント概要

開催日時 2023年10月26日(木)、27日(金)  
場所 明星大学 図書館  
参加対象 一貫本科2年生 4名

2. イベントの目的

- (1) 実際に社会で活躍する人の職業観・勤労観に触れ、一人一人の個性が社会と繋がっていることを理解する。
- (2) 自己を理解することによって、集団における役割を理解することができ、社会との繋がりをもちことを理解する。
- (3) 実際に社会で活躍している方々から生の声を聞くことによって、自分自身も社会や地域の役割を果たすことができるのだと理解し、自己有用感を高める。

3. イベント内容

日時	10/26 (木)	日時	10/27 (金)
9:50	本館1階中央ベンチ前に集合 (出欠確認、名札等配付・大矢)		—
10:00	図書館に移動	10:00	図書館(28号館2階事務室)に直接集合 (出欠確認・大矢)
10:10	【図書館、MEISEI HUB内の案内】 【職場体験】作業説明・体験(図書館チーム)		【職場体験】作業説明・体験 (図書館チーム)
11:30	昼食：大学の食堂を利用(実費負担)・弁当の持参も可(食堂利用 案内・大矢)	11:30	昼食：大学の食堂を利用(実費負担)・弁当の持参も可(食堂利用)(各自)
12:30	【職場体験】作業説明・体験	12:30	【職場体験】作業説明・体験
		14:45	体験終了
15:00	Classiにて終了報告し帰宅※名札は持ち帰り	15:00	Classiにて終了報告し帰宅 ※名札は大矢が回収

■服装：制服

集合場所(初日)



#### 4. 体験授業の様子



#### 5. 所感

一貫2年生授業 職業体験の施設の一つとして明星大学 図書館体験に4名の生徒が参加しました。

参加生徒は一貫2年生という学年であり、大学という場所に初めて足を踏み入れたという生徒もいたと思います。明星大学は図書館司書資格を取得するプログラムもあります。参加した生徒には明星大学が進路先の一つの選択肢として意識される機会になったと思います。

今回の参加者は4名と少人数となりましたが、高大の連携を深化させるためにはこういった個々の対応は必要なプロセスであり、本学建学の精神「手塩にかける教育」に通ずる取り組みだと思います。明星中学校・高等学校においては同学苑機関として、一般受験生を対象としたオープンキャンパスにプラスして特別な企画を立案実施ができるよう、引き続き大学と連携していければと考えております。

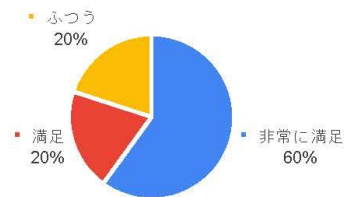
#### 6. 職業体験アンケート結果

別紙参照

# 明星大学図書館

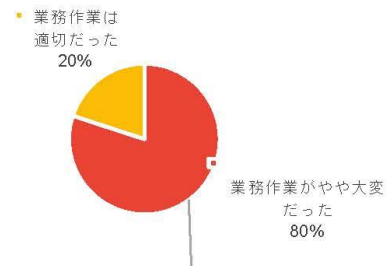
## 体験全体の感想

非常に満足	3
満足	1
ふつう	1
やや不満	
不満	



## 体験の内容

業務作業が大変だった	
業務作業がやや大変だった	4
業務作業は適切だった	1
業務作業があまりなかった	
業務作業がほとんどなかった	



## 感想

---

大体はスムーズにできたと思う。そして、大学という業種で行ったけれど、その中でも種類が沢山あるということに気づけた。

---

大学生の人も仲良くなれて、仕事も地味だったけど、とても私は楽しくできました。

---

2回目も同じような仕事だったけど結構ハマって集中をととも出来ました。

---

凄く事務所の方も大学生の方も優しくてやりやすかった

---

図書館業務は地味な作業が続くのは仕方のない事だと思うが図書館で一括りではなく、授業の見学など、教育としていろいろな体験をさせてくれるほうが良い

---

東京経済大学連携事業 教職希望学生 英語授業見学の報告

作成者：府中校事務ユニット 教学チーム

1. イベント概要

実施日時 2023年11月14日(火)、17日(金)  
 場 所 明星高等学校 各教室  
 対 象 本科1、2年生 英語授業クラス 対応教員4名  
 参 加 者 中川知佳子准教授、東京経済大学学生 14名(延べ)

2. イベントの内容

東京経済大学との連携事業として、東京経済大学にて英語教員免許取得を目指す学生を対象とした東京経済大学の英語授業の一環としての本学教員による英語授業の見学。

3. 見学スケジュール

- ① 11月14日(火) 9:50~10:40 (2時限高1本5 英CⅠα 武山新也) 東経大 学生1名 +教員1名(中川知佳子)
- ② 11月14日(火) 10:50~11:40 (3時限高2MS 英CⅡ 高山謙一) 東経大 学生2名 +教員1名(中川知佳子)
- ③ 11月14日(火) 11:50~12:40 (4時限高2本4 英CⅡ 佐藤祥司) 東経大 学生1名 +教員1名(中川知佳子)
- ④ 11月17日(金) 8:50~9:40 (1時限高2本2 英CⅡ 武山新也) 東経大 学生5名 +教員1名(中川知佳子)
- ⑤ 11月17日(金) 9:50~10:40 (2時限高2本7 英CⅡ 上岡司) 東経大 学生5名 +教員1名(中川知佳子)

実施会場

南 棟								北 棟							
511	512	513	514	515	516	517	518	501	502	503	504	505	506	507	508
高1-1 本科	高1-2 本科	高1-3 本科	高1-4 本科	高1-5 本科	高1-6 本科	高1-7 本科	高1-8 本科	中2-3	中2-4	中2-5	中1-5	中1-4	中1-3	中1-2	中1-1
36名	36名	36名	36名	36名	35名	36名	36名	27名	27名	28名	36名	36名	36名	T 25名	T 27名
411	412	413	414	415	416	417	418	401	402	403	404	405	406	407	408
高2-1 本科	高2-2 本科	高2-3 本科	高2-4 本科	高2-5 本科	高2-6 本科	高2-7 本科	高2-8 本科	中2-2	中2-1	中3-1	中3-2	中3-3	中3-4	中3-5	高4-2 MS
37名	37名	37名	37名	37名	37名	37名	36名	27名	T 28名	T 37名	E 23名	29名	29名	29名	30名

4. 体験授業の様子



5. 所感

東京経済大学の教職プログラムには、明星大学 教職カリキュラム インターンシップ制度のような教育現場を時間をかけて知る機会はなく、教育実習にて現場に放り込まれる現状への中川先生の心配から本企画の申し出をいただいた。参加学生は、4名の異なる先生方の実践の授業を見比べられたことは貴重な体験になったと思います。また、対応いただいた本学教員も授業見学を快く受け入れていただき、先方の期待に添える実施内容になったと思います。

本企画規模は大きなものではありませんが、地域連携としても英語教員志望学生に本学苑の教員枠を意識していただくには有意義な企画になったと思います。



## 一貫2年特別選抜クラスの東京農工大学学生卒業論文解説授業の報告

作成者：府中校事務ユニット 教学チーム

### 1. イベント概要

実施日時 2023年11月17日（金）、24日（金）  
場 所 明星中学校高等学校 2階 生物室  
対 象 一貫2年特別選抜クラス 28人 対応教員3名  
参 加 者 降旗信一教授、東京農工大学学生4名

### 2. イベントの内容

東京農工大学 降旗信一教授研究室 4年生または院生が取り組んでいる卒業論文の内容を本学教室にて一貫2年生徒に伝え、早い段階からの大学の意識、研究内容を知る機会を作り、将来に向けた意識を醸成させる時間を作る。

### 3. 見学スケジュール

- ① 第1部 13:20～14:10 全体プレゼン発表（6分/人）
- ② 第2部 14:20～14:55 グループ討議 15分2交代制
- ③ 振り返りシート記入 14:55～15:10

### 4. 体験授業の様子



### 5. 所感

生徒は発表者との年齢差が少ないことから、大学生の話を等身大の将来として、興味、意識を持っていく様子うかがえた。東京農工大学学生4名それぞれの研究が発表されたことで、同じ研究室での異なる研究の範囲、それぞれ学生が研究テーマを決めた経緯の切り口など、対面発表でないと伝えることの難しい興味深い内容となっていた。

生徒それぞれが興味のある発表者に質問する2部では、どのグループでも研究範囲に留まらず、絶え間ない生徒と学生の討議が行われている様子があった。生徒にとって求める体験、情報を得られる企画の主旨にあった授業展開になっていたと思われます。

## 明星小学校 東京農工大学留学生とのユニバーサルウィークの報告

作成者：府中校事務ユニット 教学チーム

### 1. イベント概要

実施日時 2023年12月1日(金)  
場 所 明星小学校  
対 象 第1部 全校児童 第2部 4年生全クラス  
参 加 者 東京農工大学 留学生 5名

### 2. イベントの内容

小学校企画 ユニバーサルウィークの1つの企画として、東京農工大学から異なる国からの留学生5名を招き、児童に異文化への興味、関心を持たせる。児童が留学生に伝えるためのプレゼンテーションを考えることで自国の特徴を知り、伝えるための工夫を助長させる。

### 3. 見学スケジュール

第1部 全体会 国や文化の紹介 体育館  
13:15 注意事項の説明 ゲスト紹介 入場 自己紹介 各国についてのプレゼンテーション  
13:45 お礼の言葉、花束贈呈 ゲスト退場  
第2部 4年生 交流プログラム 各教室  
14:05~14:50 留学生は各クラスに分かれて小学生の発表、企画に参加

### 4. 体験授業の様子



### 5. 所感

留学生と直でふれあえる貴重な機会は児童に大きなインパクトを与えたようで、企画終了後の様子として、児童から教員へ各国文化についての質問が出るなど、自学、自習に繋がっている現場報告がありました。留学生にとっても短い留学期間の中で貴重な体験になったものと思います。授業後も留学生の周りには児童が押し寄せており、児童、留学生双方にとって有意義な時間になったことがうかがえます。

なお、本企画は留学生派遣先 東京農工大学グローバル教育院のトピックスとして掲載いただいております。

## 開星中学校・高等学校、明星中学校・高等学校との連携事業に関する協定締結式の報告

作成者：府中校事務ユニット 教学チーム

### 1. イベント概要

実施日時 2023年12月1日（金）13時30分～  
場 所 島根県 開星中学校・高等学校 会議室  
出席者 開星中学校・高等学校  
理事長 大多和 聡宏（おおたわ あきひろ）  
校 長 小山内 仁（おさない まさし）  
副校長 浜屋 陽（はまや あきら）  
教 頭 松浦 亮（まつうら りょう）  
教 諭 倉掛 裕喜（くらかけ ひろき）  
事務局長 松本 仁（まつもと ひとし）  
明星中学校・高等学校  
教 頭 上杉 剛（うえすぎ たけし）  
事務長 村山 光子（むらやま みつこ）

### 2. 協定締結の主旨

開星中学校・高等学校、明星中学校・高等学校、両校がそれぞれの設立の趣旨を尊重の上、教育交流を通じ、両校の特色を活かした幅広い分野の連携を推進することにより、生徒の成長を促し、中学・高等学校教育の活性化を図り、もって社会の発展、振興に寄与することを目的とする。

### 3. 連携・協力事項

- (1) 教育の連携に関すること
- (2) 生徒間の正課及び課外活動における交流に関すること
- (3) 教職員の研修・交流に関すること
- (4) 施設の利用に関すること
- (5) その他両校の間で合意された事項

### 4. 式次第

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 連携事業協定の概要説明
4. 連携事業協定書 締結式
5. あいさつ  
開星中学校・高等学校 校長 小山内 仁（おさない まさし）  
明星中学校・高等学校 教頭 上杉 剛（うえすぎ たけし）
6. 写真撮影
7. 閉会

### 5. 協定締結の様子



2023年度 府中校 高大連携事業 (中間報告 12月)

5月、6月	7月	8月	9月	10月	11月、12月
<p>大学見学 (明里大学) 一貫1年 135名</p> <p>連携講座「心と身体」大講義、または明里大学の大学見学</p> <p>各大学広報部等担当者 5月30日</p> <p>各大学来校バリエーション</p> 	<p>フロンティア教育 (明里大学) 一貫1年 160名</p> <p>IoT・MESHを活用した作品作成の実践講座</p> <p>情報学部 山中権也准教授、学生10名程度 7月12～15日</p> <p>府中校 教室</p> 	<p>高大SDGs連携及び、大学生徒紹介の連携 (明里大学) 一貫1年 283名</p> <p>推進するWEISEL SDGs VISIONの観点から、大学での取組を紹介する。</p> <p>理工学部 柳川(連)季准教授、学生4名 8月25日</p> <p>府中校 講堂</p> 	<p>SDGsのゴールについて (明里大学) 一貫1年 希望者</p> <p>大学が実践している現場につながるSDGs活動に魅力、理解を深める。</p> <p>理工学部 山中権也准教授、府中環境協成工学部 榎野麗工大学 榎野麗工大学</p> <p>9月23日</p> 	<p>文化祭でのフロンティア版 発表 (明里大学) 一貫1、2 本科 20名程度</p> <p>文化祭にてフロンティア版制作の発表を中心とした物販を大学と共に行う。</p> <p>人文学部 毛利順子教授 10月7日</p> <p>府中校 講堂</p> 	<p>西本先生プレゼンテーション (明里大学) 一貫1本科 283名</p> <p>フロンティアへの取り組みを、学生と先生が対話しながら、代生を通じての発表を行う。</p> <p>フロンティア部 西本朝己教授 11月11日、22日</p> <p>府中校 講堂</p> 
<p>大学見学 (東京経済大学) 高MSG1～3年生 300名程度</p> <p>連携講座「心と身体」東京経済大学 大学見学</p> <p>各大学広報部等担当者 5月30日</p> <p>東京経済大学来校バリエーション</p> 	<p>人文学部によるSDGs 5階 問題の発見と事後学習 (明里大学) 高1本科 283名</p> <p>人文学部 志知聡子准教授、教員4名、学生30名程度 7月19日</p> <p>府中校 教室</p> 	<p>公認心理師実習生受入 (明里大学) (公認心理師) 中学校・高等学校</p> <p>公認心理師を目指す心理学部学生の実習受け入れ</p> <p>心理学部 竹内謙二教授、学生50名程度 8月25日</p> <p>府中校 教室</p> 	<p>総合探究ゼミ (提携校中の複数大学) 高1本科 283名</p> <p>「ゼミ形式での探究学習を行う」という一環に大学教員が90%以上を占める。</p> <p>明里 榎野麗工大学 榎野麗工大学 各教員2名程度 8月25日</p> <p>府中校 教室</p> 	<p>留学生との交流プロジェクト (提携校大学) 一貫3年 145名</p> <p>外国の伝統文化や学食、留学について日本の伝統文化を伝える。</p> <p>東京理工大學 留学生4名 10月25日</p> <p>府中校</p> 	<p>留学生との交流プロジェクト (提携校大学) 1部 小学生全児童 2部 小4全児童(100名)</p> <p>外国語、外国文化に触れることと外国へ日本を伝える。</p> <p>東京理工大學 留学生5名 12月1日</p> <p>府中 明里小学校</p> 
<p>探究会館 (提携校大学) 高1本科 283名</p> <p>高大教員による探究学習型に合わせた講座、フロンティア形式での学び、イベントを実施</p> <p>提携校大学 フロンティア部 武蔵野大学 6月9日、10日</p> 	<p>明里大学 オープンキャンパス (明里大学) 参加</p> <p>高1本科 283名</p> <p>明里大学 オープンキャンパスに 参加</p> <p>明里大学 フロンティア部 7月19日</p> <p>明里大学</p> 	<p>高大教員との合同研究 (提携校大学) 高校希望生 1～11年生 50名程度</p> <p>府中大学 研究員1名、学生1名、年度末に大学で発表</p> <p>麻布大学 教員 8月9日</p> <p>府中校</p> 	<p>補習授業科「下」 (東京理工、東京経済大学) 一貫1～3年生 50名程度</p> <p>学習に不安のある生徒に学習の遅れを補うための一課制、及び小中学校での英語授業</p> <p>東京経済大学 東京理工大学生 14名 9～2月 放課後2回</p> <p>府中校</p> 	<p>就業体験 (明里大学) 一貫2年 4名</p> <p>就業体験の一環としての授業</p> <p>大学 図書館 10月26、27日</p> <p>明里大学 図書館</p> 	<p>高大連携 教員希望生 支援 (東京経済大学) 高校1、2年生 授業</p> <p>大学授業における高校英語授業の受け入れ</p> <p>東京経済大学 中山知子先生 11月14日、17日</p> <p>府中校</p> 
<p>府中校 希望生 10名</p> <p>高大連携 希望生 10名</p> <p>府中校 希望生 10名</p> 	<p>府中校 希望生 10名</p> <p>高大連携 希望生 10名</p> <p>府中校 希望生 10名</p> 	<p>府中校 希望生 10名</p> <p>高大連携 希望生 10名</p> <p>府中校 希望生 10名</p> 	<p>府中校 希望生 10名</p> <p>高大連携 希望生 10名</p> <p>府中校 希望生 10名</p> 	<p>府中校 希望生 10名</p> <p>高大連携 希望生 10名</p> <p>府中校 希望生 10名</p> 	<p>府中校 希望生 10名</p> <p>高大連携 希望生 10名</p> <p>府中校 希望生 10名</p> 

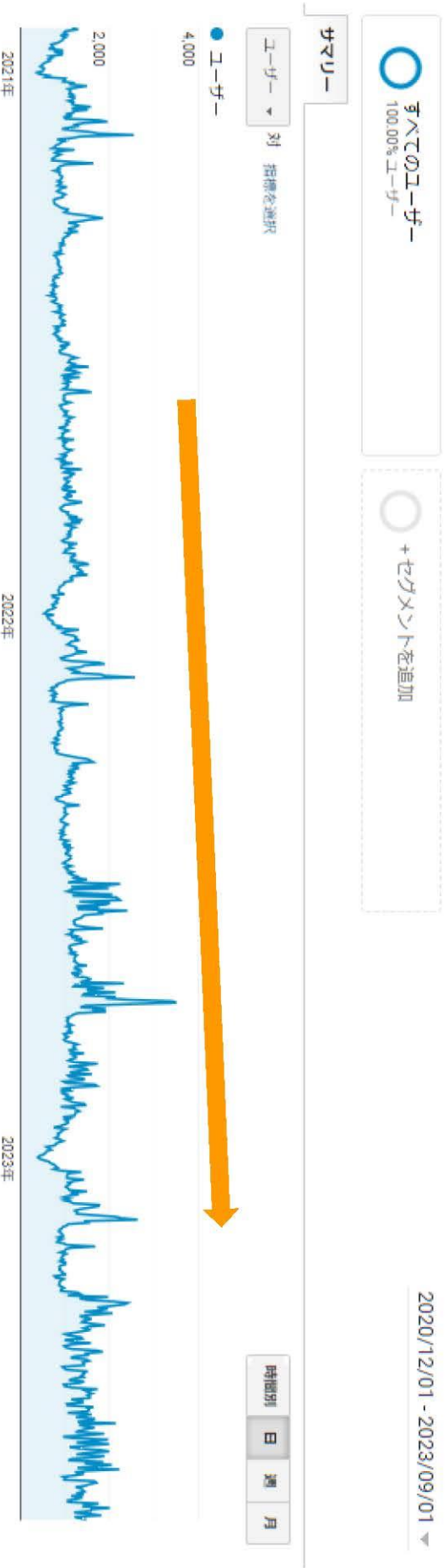
【資料6】

【2021年～2023年】  
HP解析レポート  
ダイジェストサマリー

# 全体サマリー

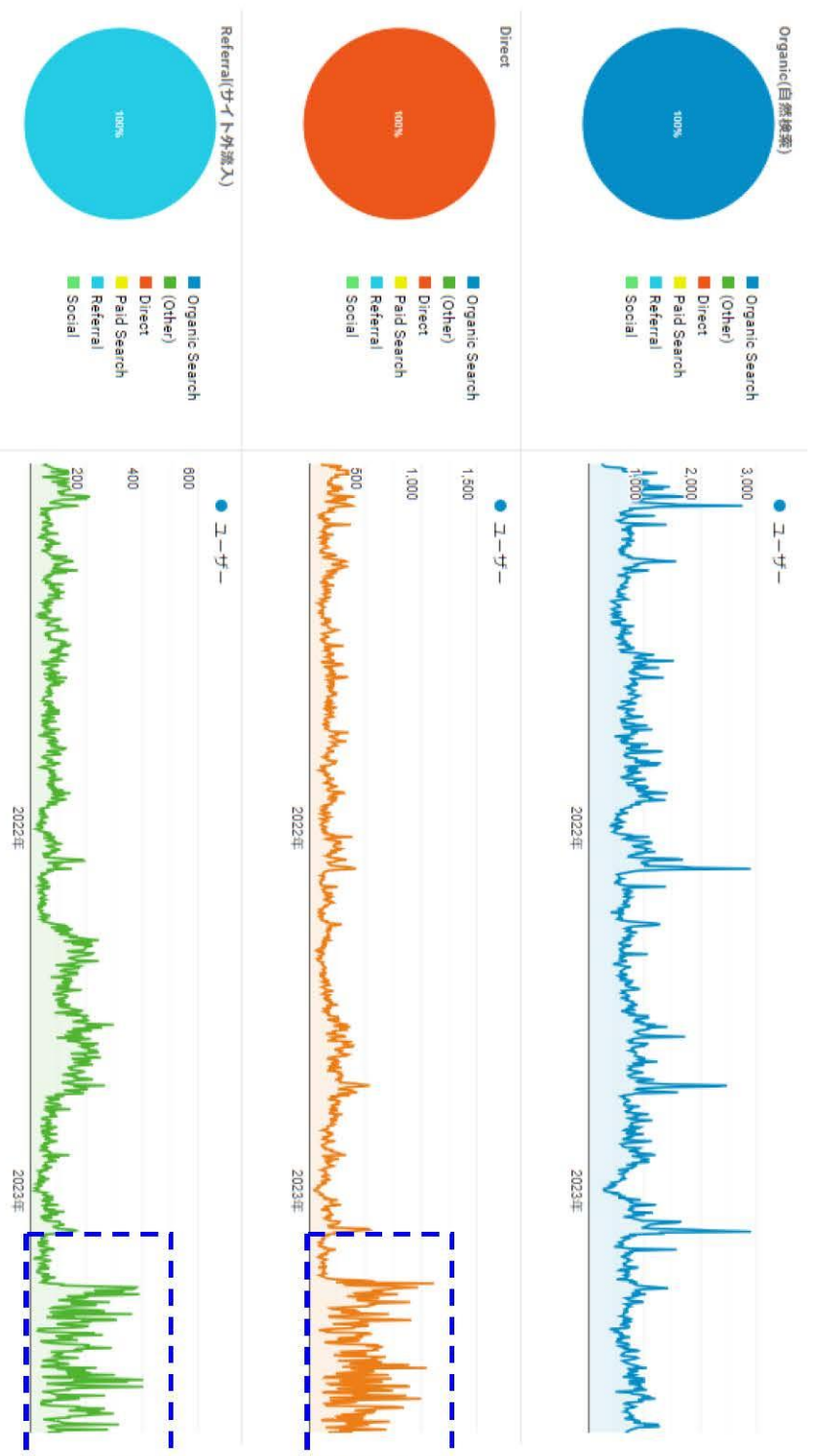
- 2021年春～2023年秋にかけてのサイトへのアクセス数は増加傾向。
- メールアドレスを収集しての情報配信や、新たな外部サービス（みんなの学校情報(イトクロ)、ロックスオン広告(リビジョン)）との契約によって、新しく開拓したチャネルからアクセスを増やすことに成功。
- 前年と比較しても、在校生以上に新しいユーザー（受験生）との接点を増やせており、通年で継続的な接点を持つことができていることから、学校の認知度の増加につながっていると考えられる。

# サイト全体アクセスユーザー数の推移(2021~2023)



- サイト分析を開始した2021年春~2023年秋までにおいて、SEO施策などサイトのアクセス改善を行う事で堅調にアクセス数を伸ばしてきました。
- アクセス全体におけるスマートフォンによるアクセスは76%を占める。

# サイト全体流入経路（チャネル）の推移（2021～2023）



- サーチエンジン（自然検索）経由での流入に大きい変化はなく、ダイレクトはメール配信によるアクセス増加の効果あり。
- サイト外流入は掲載費用をコントロールし、新しい媒体(イットクロ、リビジョン)への出稿を試みたことからアクセス増加に成功。



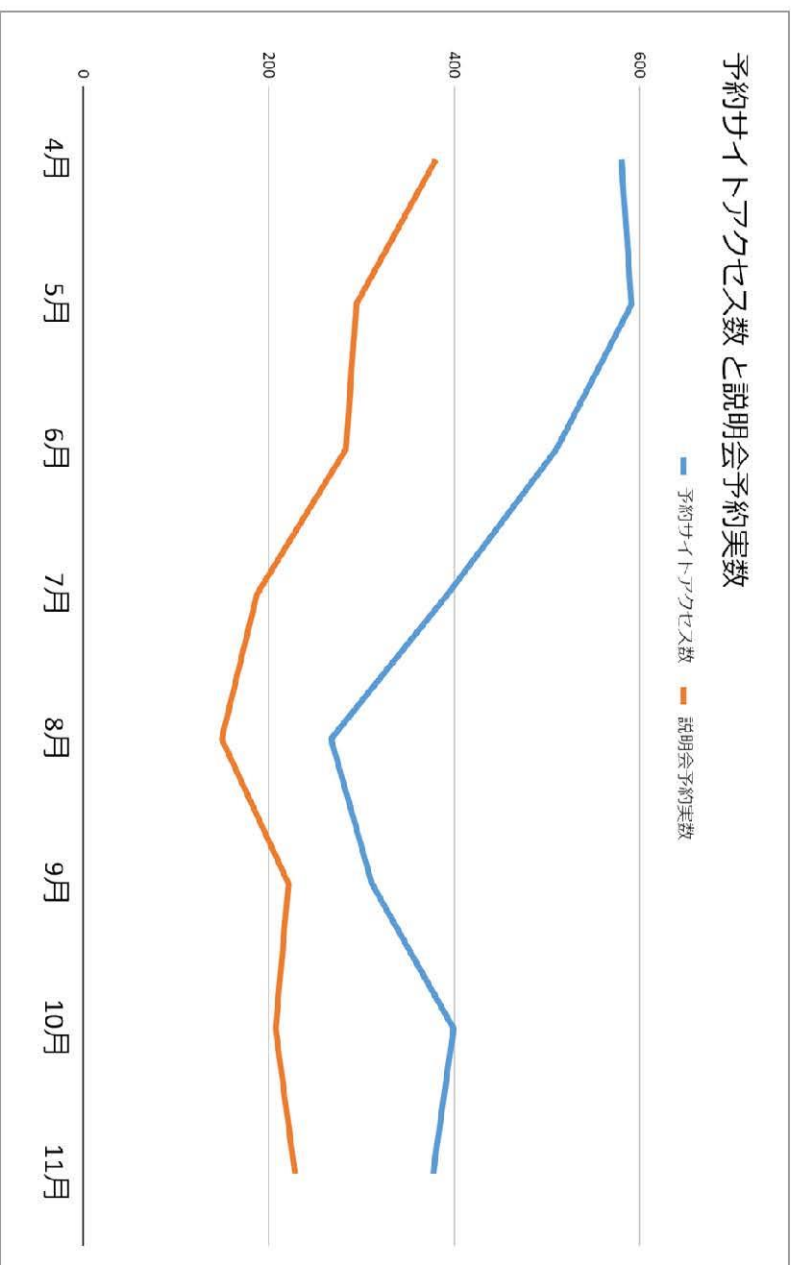
# サイト全体アクセスユーザー数の比較(2023 vs 2022)



- 前年と比較し、サイト全体のアクセスユーザーは、**23%増加**。
- リピーターユーザー（在校生）よりも新規ユーザー（ターゲット受験生）は**22%増加**。
- 直帰率が**39%**低下。サイトの目的にあったユーザーを集められている。

届けたい利用者にリーチできるようになってきている。

# 説明会予約サイトへの流入数と実予約数の推移(2023)



- 月次での予約サイトへの流入数と実際の説明会予約人数をウオッチし異常値が無いか確認することで、予約サイトにおいて問題なく予約できていることを把握できている。
- 通年で説明会実施による接点づくりが安定的に行えている。